

政風会代表

### 北沢議員

その他の質問  
・市民の健康管理について

#### 平成27年度予算編成について

##### Q 質問

勝山市では人口の減少と高齢化をはじめとする課題が色々あるため、安定した財源の確保、地域間格差を是正し、自主性、主体性を発揮できる基盤づくりが急務である。平成27年度予算は前倒しを含め過去最大規模の138億4、900万円の予算編成となっているが、市債残高を含め今後の考えを伺う。また公金の現年分及び滞納分の徴収をいかにしているのか。徴収率の評価は如何か。

##### A 答弁

近年、新体育館建設や公共施設の耐震補強・大規模改修など、建設事業が続いていることから、市債残高が増加傾向にある。一方、一般財源の歳入は、大幅な増加が見込めないことから、集中と選択による歳出の抑制は不可欠な課題であると考えている。このような中、平成27年度当初予算編成にあたっては、義務的経費、投資的経費等を除く全ての経費について、対前年度一般財源ベースでマイナス5%のシーリングを設定し予算編成を指示したところである。今後第2次勝山市行財政改革実施計画をより一層推進し、さらなる経費の節減などに積極的に取り組ん

### 代表質問

未収納額の回収方法については、督促状および催告書の送付や窓口での納付相談を通じて、未納市税の納付を促し未収納額の縮減に努めている。平成25年度現年分の市税徴収率については、県下9市でトップとなるなど、これまで行ってきた収納対策の成果が表れてきている。

#### 今後の空き家対策について

##### Q 質問

市内には空き家が480軒ちかくあり、老朽化が進み弊害を生む可能性がある。実態調査はどのように行っているのか。今後、空き家を有効に活用し活性化の一步とし定住化を図ることが必要と思われるが、独自にリフォーム、改装、解体などの補助制度をつくり助成対策ができないか。

##### A 答弁

空き家の調査方法は、毎年4月に各区長に情報収集をお願いし、報告いただいた情報を元に市職員が現状を確認している。空き家の増加についての対応は喫緊の課題であるため、早急に検討していく。また既存の制度自体についても見直しを行い、制度の拡充を図ることにより、一人でも多くの方が勝山市に定住していただきたいと考えている。

日本共産党代表

### 山田議員

その他の質問  
・政府による地方破壊をくい止める取り組みについて

#### 緊急経済対策と地方創生の取り組みについて

##### Q 質問

①集団健診を市外の検診車でなく、福井勝山総合病院で実施すれば、地元雇用が増え、患者の地域外流出の歯止めが二次医療圏存続にも繋がる。福祉バスなどを活用すれば検診車購入の病院負担も軽くなる。検討すべき。②空き家を利用して定住人口を増やすために、市内業者が計画している空き家の管理やリフォームにも助成を拡充できないか。③「仕事づくり、なんでも相談窓口」を設置し、市民の積極的な提案をワンストップで支援すべき。

##### A 答弁

①福井勝山総合病院での集団健診の取り組みについては、医師等病院スタッフの確保等体制を整えることが必要であり将来的には取り組んでいきたいという意向を聞いている。まずは個別での受診者を増やすことで福井勝山総合病院受診者数の増加につなげていきたい。また送迎については、10月に新しいバス体制の見直しが行われることから、公共交通機関も利用していただきたいと考えている。②空き家対策は市においても喫緊の課題であり、今後、定住人口の増加を図るため、空き家のリフォーム

#### 旧精華高校土地問題について

##### Q 質問

市長や監査委員が、補償費支払いの証拠としている県議会議事録には、陳情者が山内元市長「外1名」と記載されている。「外1名」が荒井由松氏なら市が補償費を支払う義務はない。市長と監査委員は「外1名」が誰だったと判断したのか。

##### A 答弁

旧精華高校土地問題については、本年2月18日に訴えの提起があったため、今後は法廷の場において市の見解を述べることにより、司法の判断がされますので、この場での答弁は控えさせていただきます。